

5. パブリシティ

- 5-1 毎日新聞 朝刊（平成 22 年 10 月 10 日掲載）
- 5-2 読売新聞 朝刊（平成 22 年 10 月 10 日掲載）
- 5-3 西日本新聞 朝刊（平成 22 年 10 月 10 日掲載）
- 5-4 北九州市政だより 10 月 1 日号
- 5-5 リビング北九州 9 月 25 日号

5. パブリシティ

5-1. 毎日新聞 朝刊 (平成 22 年 10 月 10 日掲載)

認知症へ理解を 「もりフォーラム」 小倉北・山田緑地



ボランティアの学生と語り合うお年寄りたち

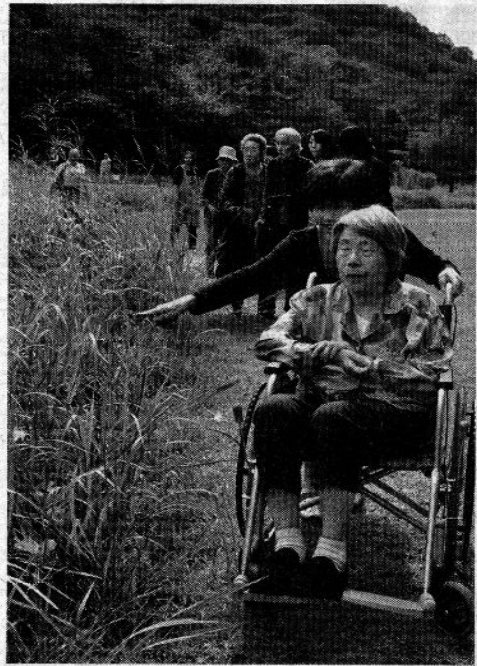
認知症への理解と地域ぐるみでの輪を広げる取り組み「もりフォーラム」が9日、小倉北区山田の山田緑地であり、認知症のお年寄りや家族、ボランティア約1700人が参加。自然散策やコンサート、セミナーなどで若者と楽しく交流した。

今年で5回目、今回初めてセミナーを開催。市関係者や社会福祉協議会幹部、民生委員らが認知症や高齢者対策について討議した。コンサートでは、楽しそうに手をたたいたり、口ずさむお年寄りの姿が目立ち、九州リハビリテーション大学の学生約80人もボランティアで汗を流した。

義父と一緒に参加した八幡西区の高原由起さん(52)は「食事も進み、とっても気持ちがいいようです。自然の力って不思議」と話していた。【村山文作】

5-2. 読売新聞 朝刊 (平成 22 年 10 月 10 日掲載)

認知症のお年寄りら交流



緑地で散策を楽しむお年寄りら

山田緑地 イベント、2100人参加

認知症のお年寄りらを中心にした交流イベントが9日、小倉北区・山田緑地で開かれ、家族や医療・福祉関係者、市民ボランティアらを含め計約2100人が参加した。

緑地に広がる森にちなみ、「もりフォーラム」と名付けられたイベントは、北九州市や老いを支える北九州家族の会、認知症草の根ネットワークなど市内の約20団体でつくる実行委員会主催で、今年で5回目。お年寄りらは手を引かれ

たり、車いすを押ししてもらったりして、緑豊かな緑地を散策。彼岸花などの花々やトンボなどの昆虫にも目をとめて楽しんでいった。主催の会場では、約300人が輪になって童謡「もみじ」など7曲を合唱。紙を丸めたボールを段ボール箱

に投げ入れる「玉入れ」やリズム体操などもあった。屋内では、北九州市内の認知症患者や施設などの現状を紹介するパネル展や、介護する家族の悩みなどに専門家が答える相談会などがあった。

実行委員長で家族の会代表の高田芳信さん(81)は「イベントを通して、認知症の人も安心して過ごし、交流できる社会づくりの大切さを多くの人に伝えられたら」と話していた。

5-3. 西日本新聞 朝刊 (平成 22 年 10 月 10 日掲載)

認知症への理解を深め 寄りや多くのボランティア
でもらおうと、「第5回 アが姿を見せ、散歩道
もりフォーラム」(西日 散策やバンド演奏、折
本新聞社などが後援)が 紙教室などの催しを
小倉北区山田町の山田緑 地で開かれ、約2千人が
ル展示やサポーター養成

認知症もつと知って

山田緑地でフォーラム 講座もあった。

高齢者の医療、介護な 実行委員の野村美代子
どの問題に取り組む各団 さん(66)は「認知症は
体が実行委員会をつく 西5丁目には「認知症は
り、4年前から毎年開催。 病気であることを知り、
会場には、認知症のお年 向き合うようにしてほし

「と話していた。」 (華山哲幸)



ボランティアと楽しもう
に話す参加者たち

5-4. 北九州市政だより 10月1日号

認知症について知ろう

▼もりフォーラムⅡ認知症に関
するワークショップやパネル展示
など。10〜16時 ▼※認知症講座Ⅱ
10時30分〜11時30分。(定)先着30人。
【共通】10月9日(土)、山田緑地(小倉北
区山田町)で。申※は必要。10月4
日から保健福祉局高齢者支援課 ☎
582・2407へ。

森のチカラで元気と笑顔を！ 第5回「もりフォーラム」

10月9日(土)午前10時～午後4時、山田緑地で

主催/もりフォーラム実行委員会 後援/北九州市ほか



大自然を満喫「もりの散歩」

山田緑地の大自然の中で行われる「もりフォーラム」。認知症の人と家族、市民、行政・企業の人など、さまざまな人が出会い、ふれあいながら、認知症への正しい理解を深め、身近な地域社会に広めていくためのきっかけづくりの場として、今

回で5回目を迎えます。◆みんなで大合唱 午後1時30分から森の家横の芝生広場で、200人を超える人数で「もみじ」を合唱。秋風の中、森に歌声が響き渡ります。ぜひ一緒に参加してみませんか。ほかに、五感を使って自然を楽しむことができるイベントがいくつかあります。「もりの散歩」では山田緑地の森先案内人や寄り添いボランティアと一緒に自然の中を歩き、ワークショップやまだ倶楽部では落ち葉を使って絵を描くなどします。「本人と家族の集い」認

知症サポーター養成講座「パルーンアート」ささえあい相談コーナー「認知症を学ぶパネル展」や、障害者施設やNPOなどによる飲食ブース「山田屋台」なども。日時 10月9日(土)午前10時～午後4時 会場 山田緑地(小倉北区山田町) ※当日は小倉駅北口から無料シャトルバス運行。詳しくはHP (<http://www.sato-yama.cn/news-2/mori-yokoku.html>)を参照 入園料 無料(当日は駐車場無料) 「もりフォーラム」に関する問い合わせは、実行委員会 ☎512・3190、北九州市エコライフプラザ内)へ。

また、認知症発見月間(9月21日～10月20日)にあわせ、記念講演会が開かれます。テーマは「正しい理解が、支えあうまちづくりへの第一歩」。小説家の玉岡かおるさんによる講演会、横浜ほうゆう病院院長の小阪憲司さんによる講座「正しい認知症の理解」、ハートフルコンサートが行われますよ。入場無料。日時 10月15日(金)午後6時～同8時 会場 北九州芸術劇場大ホール(小倉北区室町) / リバーウォーク北九州6階 定員 1200人 申込方法 往復はがき(1枚に4人まで)に、代表者の〒住所、電話番号、参加者全員の名前、年齢を記し、〒803-8501小倉北区城内1-1北九州市保健福祉局高齢者支援課へ。10月5日(火)必着 記念講演会に関する問い合わせは、同課 ☎582・2407へ。